

2020 年度優秀学生表彰受賞者の研究紹介

東北大学
工学部 電気情報物理工学科
石川 太繰

【研究紹介】

この度はこのような栄誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。日頃よりご指導いただいている皆様方に、心より深く感謝申し上げます。

私は現在、「源氏物語」や「南総里見八犬伝」などの古典籍に見られる「くずし字」を、機械学習によって、それがどの文字であるかを認識する研究をしています。現在、くずし字の認識においては、データ数の少なさという問題が立ちはだかっています。一般に、機械学習においては膨大な数のデータが必要ですが、くずし字においては、その多くの文字種においてデータ数が不足しています。例えば、書物によく登場する「事」や「御」といった文字については認識がしやすい一方で、あまり登場しない「籀」や「麟」といった文字については容易ではありません。この問題を解決するために、「偏（へん）」や「冠（かんむり）」などの部首や、あるいは漢字の内部に含まれた漢字など、文字部位に着目し、書物にあまり登場しない文字についてもうまく認識が行える識別器の実現を目指しています。

博士課程前期においては、この識別器について更なる性能の改善を行い、より多くの文字が認識できる識別器を実現するため、この度いただいた賞に恥じぬよう、より一層の努力を重ねていきたいと存じます。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどをお願い致します。